

No	施策名		R3決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名				
事務事業名		事務事業の目的	R4決算額(円)	2 評価責任者氏名					
			内 直接事業費	3 妥当性評価					
			内 人件費	4 有効性評価					
				5 効率性評価					
1	参加と協働の推進	田原市市民協働まちづくり条例に基づき、総合的な協働体制の構築、市民公益活動のきっかけづくりの支援等により、市民協働のまちづくりを推進する。	7,408,560	事務事業評価		・市民との協働を推進するため、市民協働まちづくり事業補助金や啓発活動を実施している。 ・補助制度の内、チャレンジ枠、人材養成枠は応募が少ない状況となっている。そのため、市民活動のニーズに合った制度運用が必要である。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	10101010		1,313,257	1 企画部 企画課	改善の効果				普通
	協働のまちづくり体制確立事業		6,095,303	2 仲谷 和也					
	6,108,643		3 高い						
	757,393		4 高い						
	5,351,250	5 普通							
2	参加と協働の推進	地域住民自らの創意工夫と共助による「みんなで支えあう暮らしやすいまち」を実現するため、市民協働の基礎的団体として位置付けている地域コミュニティ団体の活動を支援する。	94,677,949	事務事業評価		自治会等の地域コミュニティ団体は、地域に応じた活動を行っており、その自主的な地域づくり活動を推進するため、継続した支援が必要である。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	10103010		90,333,000	1 総務部 総務課	改善の効果				普通
	コミュニティ活動支援事業		4,344,949	2 伊藤 英洋					
	99,738,324		3 極めて高い						
	94,815,000		4 高い						
	4,923,324	5 高い							
3	参加と協働の推進	地域住民自らの創意工夫と共助による「みんなで支えあう暮らしやすいまち」を実現するため、地域コミュニティ団体の活動拠点となる施設等の整備を支援する。	19,946,816	事務事業評価		自治会等の地域コミュニティ団体は、地域に応じた必要な施設整備や備品購入等を行っており、地域コミュニティ団体のニーズに即した支援策が必要である。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	10104010		16,894,000	1 総務部 総務課	改善の効果				普通
	コミュニティ施設等整備支援事業		3,052,816	2 伊藤 英洋					
	24,116,602		3 高い						
	21,307,000		4 高い						
	2,809,602	5 高い							
4	参加と協働の推進	市民協働によるまちづくりを推進するため、NPO等の市民活動団体に対する情報提供や活動情報の発信等を支援する。	5,277,704	事務事業評価		・市民活動団体の自立と活動の充実を図るため、市民活動支援センターを設置し、運営を市民活動団体に委託している。 ・センターの認知度、活用実績が低い。情報発信の手法や業務内容を検討する必要がある。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	10105010		761,300	1 企画部 企画課	改善の効果				普通
	NPO活動振興事業		4,516,404	2 仲谷 和也					
	5,128,577		3 高い						
	854,848		4 高い						
	4,273,729	5 普通							
5	参加と協働の推進	田原市男女共同参画推進プランに基づき、市民、各種団体、事業者及び行政の連携により男女共同参画社会の実現を図る。	6,355,211	事務事業評価		・啓発業務については、市民提案に基づき市民活動団体に委託している。 ・市民にも、徐々に男女共同参画という「言葉」や「意識」が浸透しつつあるが、まだまだ馴染みが薄いため、しっかり推進する必要がある。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	10106010		570,746	1 企画部 企画課	改善の効果				普通
	男女共同参画推進事業		5,784,465	2 仲谷 和也					
	6,578,028		3 高い						
	338,228		4 高い						
	6,239,800	5 普通							
6	地域防犯・交通安全の推進	市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、防犯指導員の青色ノットローラーによる地域巡回や、各地区、各種団体への防犯講習等を実施し、警察、防犯協会連合会との連携による防犯啓発活動や防犯に関する情報発信等を実施する。	31,135,633	事務事業評価		・自動車盗や車上狙い、自転車盗、金属盗などの犯罪の認知件数が増加傾向にあるため、防犯意識が浸透するよう、啓発活動を継続的に実施する必要がある。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	10201010		19,095,108	1 総務部 総務課	改善の効果				普通
	防犯啓発・地域巡回事業		12,040,525	2 伊藤 英洋					
	33,887,043		3 高い						
	22,300,094		4 高い						
	11,586,949	5 普通							
7	地域防犯・交通安全の推進	地域住民自らの創意工夫と共助による「みんなで支えあう暮らしやすいまち」を実現するため、地域コミュニティ団体の防犯施設の整備を支援する。	6,875,031	事務事業評価		・地域要望に基づき、防犯灯の新設(45基)に必要な経費の補助を行うことで、地域防犯力の向上が図られた。 ・防犯灯のLED化等(223基)に必要な補助を行うことで、設備の長寿命化が図られた。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	10202010		4,651,000	1 総務部 総務課	改善の効果				普通
	地域防犯施設整備支援事業		2,224,031	2 伊藤 英洋					
	6,506,718		3 高い						
	4,102,000		4 高い						
	2,404,718	5 高い							

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名						
	事務事業名		R4決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価					
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価					
			内 人件費							
8	地域防犯・交通安全の推進 10203010	地域コミュニティ団体や警察等と協力し交通安全街頭指導活動や街頭キャンペーン等を行うことにより、市民の交通安全に対する意識の高揚を図る。高齢運転者の運転免許証の返納支援及び後付の安全運転支援装置設置に対する補助、自転車用ヘルメット購入に対する補助を行う。	7,820,985	事務事業評価		交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、死亡事故は発生している。 ・市民、関係団体、行政が一体となった交通安全意識の高揚と、交通ルール順守の普及を行い、交通事故の減少、特に高齢者の交通事故抑止を図る必要がある。	・市民の交通安全意識の高揚を図るため、地域や警察、交通安全推進協議会等と連携し、街頭指導等を行った。 ・運転免許証自主返納支援及び後付の安全運転支援装置設置に対する補助等を行ったことで、交通事故抑止が図られた。	・高齢者が事故に絡むケースが増えていることから、高齢者の事故防止に効果的なキャンペーン等の啓発活動に取り組む。 ・警察、関係諸団体と連携し、継続的に交通ルール順守の普及を行い、交通事故の減少、特に交通死亡事故の抑止を図る。		
			4,225,125	1 総務部 総務課					改善の効果	普通
			3,595,860	2 伊藤 英洋						
			6,756,019	3 高い						
			3,504,110	4 高い						
	3,251,909	5 普通								
9	地域防犯・交通安全の推進 10203020	市内全小学校区に交通指導員を配置し、児童の登下校時の事故防止を図るとともに、園児を対象とした交通安全教室の実施や各種交通安全イベントへの参加等、交通安全啓発活動を実施する。	33,785,614	事務事業評価		児童の登下校時の交通安全指導及び園児の交通安全教室等を行い、事故防止と交通安全意識の定着を図る必要がある。	・各小学校区に交通指導員23人を配置し、児童の登下校時に交通安全指導を行った。 ・交通指導員が園児を対象とした交通安全教室で交通安全教育を行った。	・交通指導員による児童の登下校時の交通安全指導や見守り、園児への交通安全教室を継続実施し、交通事故防止と交通安全意識の定着を促進する。		
			204,685	1 総務部 総務課					改善の効果	普通
			33,580,929	2 伊藤 英洋						
			33,290,204	3 極めて高い						
			196,380	4 高い						
	33,093,824	5 普通								
10	地域防犯・交通安全の推進 10203030	交通公園施設の利用を通して、交通安全に関する知識及びルールを身につけられるように、交通公園の適切な管理運営を行う。	2,525,038	事務事業評価		主に保育園、小学校等の交通安全教室に利用されるほか、土曜日、日曜日、祝日に一般開放している施設であるため、適切な施設管理を行うとともに、公園内の交通体験を通じて安全意識の高揚を図る必要がある。 ・設備や乗り物に故障や破損が発生しているため、施設の機能保持と利用者の安全確保を行う必要がある。	・シルバー人材センターへ施設管理を委託し、交通公園の開放を行った。 ・公園利用を通じ、子どもたちに交通ルールの大切さを学ぶ機会を提供することにより、交通意識の高揚が図られた。 ・故障や破損に対して修繕を行い、施設の機能保持と利用者の安全確保を行った。	・公園施設の適切な維持管理を行う。 ・定期的な公園のPRを行い、利用促進を図る。		
			1,519,388	1 総務部 総務課					改善の効果	普通
			1,005,650	2 伊藤 英洋						
			3,009,358	3 普通						
			2,108,496	4 普通						
	900,862	5 普通								
11	地域防犯・交通安全の推進 10204010	安全な道路交通を確保するため、市内の交通危険箇所(道路反射鏡等交通安全施設を整備するとともに、施設の適切な点検・維持管理を行う。	5,718,791	事務事業評価		公衆用道路における危険箇所(道路反射鏡等交通安全施設を設置して改善を行い、交通事故の防止を図る必要がある。 ・道路反射鏡等の適切な維持管理を実施する必要がある。	・地域からの道路反射鏡等の設置要望に対し、必要に応じた施設設置や危険防止のアドバイスなどを実施し、危険箇所の改善を図った。 ・道路反射鏡等の修繕を行い、不要となった交通安全施設を撤去することにより、市民の安全な道路交通を確保した。	・道路反射鏡等の設置要望箇所について、地域と協議を行い、真に必要な場所を選定し、危険箇所の改善を図る。 ・修繕の迅速かつ適切な対応を行うとともに、不要となった交通安全施設の撤去を進める。		
			3,667,675	1 総務部 総務課					改善の効果	普通
			2,051,116	2 伊藤 英洋						
			7,069,836	3 高い						
			5,035,250	4 高い						
	2,034,586	5 普通								
12	地域防犯・交通安全の推進 10204030	安全な道路交通を確保するため、道路反射鏡等の交通安全施設の修繕を実施するとともに、適切な維持管理を行い、交通事故を防止する。	4,145,482	事務事業評価		公衆用道路に設置されている道路反射鏡等の交通安全施設の適切な維持管理を実施し、交通事故防止を図る必要がある。	破損した施設の補修及び道路の危険箇所(視線誘導標)を設置し、市民の安全な道路交通を確保した。	交通安全施設の破損状況及び道路の危険箇所等の情報連絡を密にし、迅速かつ適切な対応を行う。		
			1,616,494	1 渥美支所 地域課					改善の効果	普通
			2,528,988	2 小久保 義則						
			2,524,390	3 高い						
			1,072,720	4 高い						
	1,451,670	5 普通								
13	環境共生まちづくり 10301010	地域資源を活用し、環境と共生する豊かで持続する地域を目指した「たはらエコ・ガーデンシティ構想」の実現を図る。また、たはらエコ・ガーデンシティ推進計画の一層の推進を図るため、総合調整、進行管理を実施する。	23,961,449	事務事業評価		住宅用地球温暖化対策設備設置費補助等による再生可能エネルギー導入促進のほか、菜の花エコプロジェクトの普及啓発等について活動団体と連携して行っている。 ・脱炭素社会の実現を目指すため、市民や事業者に向けた普及啓発等を継続して行っていく必要がある。	住宅用地球温暖化対策設備設置費補助等により、再生可能エネルギー導入を促進した。 ・菜の花エコプロジェクトの環境学習等を行い、新たな活動支援体制を検討した。 ・脱炭素の視点を盛り込み、たはらエコ・ガーデンシティ推進計画等を改定した。	再生可能エネルギー等の導入補助を実施しながら、制度内容や拡充について検討していく。 ・菜の花エコプロジェクトについて、菜の花エコパートナー制度の運用を支援し、活動の拡大を図る。 ・脱炭素社会の実現を含め、たはらエコ・ガーデンシティ構想実現のため、市民や事業者に向けた普及啓発等を継続して行う。		
			8,378,152	1 市民環境部 環境政策課					改善の効果	高い
			15,583,297	2 中村 和広						
			48,411,090	3 高い						
			17,412,561	4 高い						
	30,998,529	5 普通								
14	環境保全の推進 10402010	田原市環境保全計画の推進と進行管理及び、各種関連計画の総合的な推進を図る。	28,600,903	事務事業評価		田原市の環境状況を把握するため、水質、大気、振動・騒音といった生活環境に関する各種測定を実施している。測定結果について、異常値等が見受けられる場合は必要に応じて現場の確認、原因者への指導を行っている。 ・農業や畜産由来の汚水が原因とされる水質や悪臭に対する苦情が多い。	田原市の環境状況を取りまとめた「環境に関する報告書」を作成・公表し、市民に対して環境への意識付けを行った。 ・環境パトロールにより、堆肥製造事業所への定期訪問や、耕作地の堆肥の適正散布を呼び掛けることで、苦情発生抑制に繋がった。	水質、大気汚染、騒音・振動調査等を継続して行い、現状把握に努め、健全な生活環境の保全を図る。 ・苦情については、今後も関係機関と協力して事業所の適正管理、パトロールを強化し、原因者に対して適正な指導を行う。		
			8,439,564	1 市民環境部 環境政策課					改善の効果	高い
			20,161,339	2 中村 和広						
			27,349,301	3 高い						
			8,754,066	4 高い						
	18,595,235	5 普通								

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R4決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	2 評価責任者氏名				
			内 人件費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
15	環境保全の推進	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の普及推進を図る。	6,675,883	事務事業評価		・下水道等の整備対象区域外の地域に居住する市民の生活環境整備対策として実施していく必要がある。 ・市内に多く存在する単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換促進していく必要がある。	・ホームページや広報紙等で補助制度の周知を図った。 ・下水道等の整備対象区域外の小学校や市民館等に対して、合併処理浄化槽の普及促進を図るための啓発物品を配布した。	下水道の計画区域外における定住化促進や生活環境整備対策の観点から、引き続き適正な助成を実施する。
	10402020		4,692,135	1 上下水道部 下水道課				
	合併処理浄化槽整備支援事業		1,983,748	2 青木 護				
			3,770,232	3 高い				
			1,957,283	4 高い				
		1,812,949	5 普通	改善の効果	普通			
16	環境保全の推進	中小企業者及び畜産事業者等が行う公害防除施設等の整備事業に対し事業費助成を行うことにより、公害防止を推進する。	889,065	事務事業評価		・補助金周知のため、広報紙とHPへの掲載を実施している。	広報紙及びHPにより、補助金の周知を実施したが、補助対象事業者の設備投資のタイミングが合わない申請されないことがあるため、令和4年度の実績はなかった。	・事業者に補助金を交付するだけでなく、事業者が公害防止施設の適正な管理をすることを指導し、包括的な公害の発生防止抑制を図る。 ・公害に繋がる苦情対応時において、原因が本事業により改善される望みがある場合、事業者に対して補助金を紹介し活用してもらうことで、公害の発生防止抑制を図る。
	10402080		610,000	1 市民環境部 環境政策課				
	発生源対策整備支援事業		279,065	2 中村 和広				
			19,621	3 普通				
			0	4 高い				
		19,621	5 普通	改善の効果	普通			
17	衛生対策の推進	利用者への安定したサービスを行うため、田原斎場の適正な維持管理を行う。	111,398,448	事務事業評価		・利用者が安心安全に利用できるよう施設の修繕工事を実施している。 ・安定したサービスの提供のために、施設の適正な維持管理が必要である。	・利用者が安心して利用できるよう、駐車場照明器具改修工事や駐車場防護柵設置工事を実施した。 ・維持管理業務を包括委託しており、安定した火葬業務を実施できた。	適切な維持管理を実施し、安定したサービスの提供に努める。
	10501010		99,549,514	1 市民環境部 環境政策課				
	斎場運営事業		11,848,934	2 中村 和広				
			114,788,234	3 極めて高い				
			105,319,108	4 高い				
		9,469,126	5 普通	改善の効果	高い			
18	衛生対策の推進	防除活動及び衛生害虫駆除活動を推進し、公衆衛生の向上を図る。	4,952,744	事務事業評価		・食中毒警報発令時の市民等への周知を実施した。 ・専用水道、井戸等の適正な管理を推進するため、水道施設の立入検査や啓発を推進する必要がある。	・専用水道、簡易専用水道の立入検査を実施し、検査、衛生管理指導をすることで、適正な管理を推進した。(14件) ・大雨による床上浸水した家屋について防疫作業を実施した。(2件)	・食中毒警報発令時に同報無線により周知し、予防に努める。 ・災害発生時の防疫活動を実施する。 ・専用水道、簡易専用水道の衛生指導を計画的に実施する。
	10502010		90,423	1 市民環境部 環境政策課				
	生活衛生事業		4,862,321	2 中村 和広				
			4,190,595	3 高い				
			183,756	4 高い				
		4,006,839	5 普通	改善の効果	普通			
19	衛生対策の推進	狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止するため、狂犬病予防法に基づき犬の登録・管理と予防注射を行う。	8,451,856	事務事業評価		・狂犬病予防注射の実施率は、ほぼ横ばいである。(R4年度93.1%) ・野犬は捕獲が難しく、特に成犬は捕獲器を設置してもなかなか捕獲できない。	狂犬病予防注射の通知、未実施者への再通知の発送により、実施率の向上に努めた。 ・狂犬病予防注射実施頭数 3,236頭 ・新規登録頭数 229頭 ・動物愛護センター捕獲頭数 20頭	・狂犬病予防注射の実施率の向上を図る。 ・愛知県動物愛護センターと連携し、野犬対策に努める。
	10502020		1,260,967	1 市民環境部 環境政策課				
	狂犬病予防対策事業		7,190,889	2 中村 和広				
			7,738,493	3 高い				
			1,353,465	4 高い				
		6,385,028	5 普通	改善の効果	普通			
20	資源循環の推進	廃棄物の適正処理及び減量化等を推進するため、PR等により住民意識の向上を図り、ごみ分別の徹底や資源の再利用を促進する。	88,287,950	事務事業評価		・講座やHP等による啓発を実施しているが、ごみ減量・資源化の推進のためには、より住民意識の向上にむけた取組が必要である。	・ほーもん講座、小学校環境学習(炭生館)等でごみ減量・資源化を推進した。 ・資源循環の推進のため、ペットボトルの水平リサイクルに関する協定締結や、雑がみ回収袋を作成した。	・地区自治会単位で説明会を実施し、ごみ減量・資源化を図る。(併せて、ごみ処理広域化(生ごみ分別を含む。))についても周知啓発していく。) ・令和7年度のごみ処理広域化に向けた諸準備を進める。
	10601010		65,206,323	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	ごみ減量・資源化推進事業		23,081,627	2 加藤 兼三				
			85,960,103	3 極めて高い				
			71,949,818	4 高い				
		14,010,285	5 高い	改善の効果	高い			
21	資源循環の推進	ごみステーション等に出された一般廃棄物の分別収集を行い、ごみの減量化及び資源ごみの再利用を促進し、生活環境の向上を図る。	309,353,328	事務事業評価		・地域要望等により、ごみステーションの移設や集塵箱の増設、収集用ネットの設置等を実施した。 ・ステーション方式により分別収集し、ごみ減量化や資源ごみの資源循環に向け、ごみの分別回収に積極的に取り組んでいる。	・地区自治会と協力して、ごみステーションへの啓発ラミネートの設置やごみの出し方に係る回覧文を配付した。	・引き続き、資源ごみの再資源化を促進するため、排出方式・収集頻度・収集方式等、随時見直しを行う。 ・令和7年度からのごみ処理広域化や製品プラスチック再資源化のための分別収集を踏まえ、ごみ収集頻度・収集方式等を見直す。
	10602010		300,454,090	1 市民環境部 廃棄物対策課				
	ごみ収集事業		8,899,238	2 加藤 兼三				
			305,352,404	3 極めて高い				
			300,592,901	4 高い				
		4,759,503	5 普通	改善の効果	普通			

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R4決算額(円)	内 直接事業費	2 評価責任者氏名			
				内 人件費	3 妥当性評価			
					4 有効性評価			
					5 効率性評価			
22	資源循環の推進	不法投棄を防止するため、不法投棄防止対策や啓発等により住民意識を向上し、生活環境の保全を図る。	11,899,622	事務事業評価		・不法投棄防止/ハトロールやHP等による啓発を実施しているが、不法投棄は減少しない状況にある。	・不法投棄が多発している場所を「重点地区」とし、重点ハトロールや不法投棄物の回収を実施した。 ・地区自治会と協力した看板設置、啓発、監視カメラによる取締りを行った。 ・警察署と対策等の情報共有を行った。	引き続き、不法投棄防止対策として、不法投棄防止ハトロール、看板や監視カメラの設置により、住民意識の向上を図る。 ・警察署や関係者と連携して、対策の強化を進める。
	10602020		4,309,288	1 市民環境部 廃棄物対策課				
			7,590,334	2 加藤 兼三				
	不法投棄防止対策事業		13,205,064	3 高い				
			4,765,584	4 普通				
			8,439,480	5 普通			改善の効果	普通
23	資源循環の推進	田原リサイクルセンター(炭生館)から搬出される固形飛灰及び焼却残さの埋立処理を行うとともに、場内から排出される浸出水を適正に処理する。	22,328,317	事務事業評価		・炭生館から搬入される焼却残さの受入処理を適切に実施している。 ・水処理施設設備が経年劣化しているため、更新が必要となっている。 ・令和2年度から炭生館の炭化物も受け入れるようになったこともあり、残余容量の減少が進んでいる。	・水処理施設設備の修繕を実施し、浸出水の適正処理を行った。	引き続き、浸出水の適正管理のため、老朽化した水処理施設設備を更新していく。 ・残余容量については、減少状況を把握し、適正な埋め立てを図っていく必要がある。
	10603010		18,435,197	1 市民環境部 廃棄物対策課				
			3,893,120	2 加藤 兼三				
	第二東部最終処分場運営事業		24,328,750	3 高い				
			20,431,372	4 高い				
			3,897,378	5 普通			改善の効果	普通
24	資源循環の推進	搬入される割れガラス、陶磁器等の不燃ごみの埋立処分を行うとともに、場内から排出される浸出水を適正に処理する。	11,087,841	事務事業評価		・不燃ごみ等の受入処理を適切に実施している。 ・水処理施設設備が経年劣化しているため、更新が必要となっている。	・水処理施設設備の修繕を実施し、浸出水の適正管理を行った。 ・老朽が著しい重機に代え、他施設から重機を異動させることで作業効率を改善した。	引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・浸出水の適正管理のため、老朽化した水処理施設設備を更新していく。
	10603020		9,393,378	1 市民環境部 廃棄物対策課				
			1,694,463	2 加藤 兼三				
	渥美最終処分場運営事業		16,445,131	3 高い				
			14,776,127	4 高い				
			1,669,004	5 普通			改善の効果	普通
25	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみの破碎処理、各地区ステーション回収ごみを選別処理により、資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみの分別を行い、減量化・資源化を図る。	76,475,452	事務事業評価		・一般廃棄物を可燃ごみ、埋立不燃ごみ、資源ごみに分別し、埋めるごみの減量化・資源ごみの再資源化に取り組んでいる。 ・水処理施設設備が経年劣化しているため、更新が必要となっている。	・搬入ごみの分別指導を行い、搬入ごみの適正化を行った。 ・水処理施設設備の修繕を実施し、浸出水の適正処理を行った。	引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・破碎施設の運転維持管理をするともに、浸出水の適正管理のため、老朽化した水処理施設設備を更新していく。 ・資源化センターの統合を検討していく。 ・粗大ごみ等の有料化に向け、計量するための搬入路の整備を検討する。
	10603030		42,751,621	1 市民環境部 廃棄物対策課				
			33,723,831	2 加藤 兼三				
	東部資源化センター運営事業		85,559,621	3 高い				
			51,995,447	4 高い				
			33,564,174	5 普通			改善の効果	普通
26	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理、剪定枝・草等のチップ化処理及び不燃ごみ等の埋立処分を行い、減量化・資源化を図る。	93,854,484	事務事業評価		・一般廃棄物を可燃ごみ、埋立不燃ごみ、資源ごみに分別し、また、剪定枝木・草等をチップ化して、埋めるごみの減量化・資源ごみの再資源化に取り組んでいる。 ・水処理施設設備とフォークリフトが経年劣化しているため、更新が必要となっている。	・搬入ごみの分別指導を行い、搬入ごみの適正化を行った。 ・水処理施設設備の修繕を実施し、浸出水の適正管理を行った。 ・剪定枝木類処分場で使用する重機を更新した。	引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・老朽化した水処理施設設備等を更新していく。 ・焼却施設が役割を終え停止していることから、跡地利用を考慮した施設整備方針を検討していく。 ・資源化センターの統合を検討していく。
	10603040		68,820,998	1 市民環境部 廃棄物対策課				
			25,033,486	2 加藤 兼三				
	赤羽根環境センター運営事業		123,653,612	3 高い				
			91,196,384	4 高い				
			32,457,228	5 普通			改善の効果	普通
27	資源循環の推進	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理及び不燃ごみ等の最終処分場への搬出を行い、減量化・資源化を図る。	29,693,836	事務事業評価		・一般廃棄物を可燃ごみ、埋立不燃ごみ、資源ごみに分別し、埋めるごみの減量化・資源ごみの再資源化に取り組んでいる。	・搬入ごみの分別指導を行い、搬入ごみの適正化を行った。 ・粗大ゴミ等を運ぶためのレンタカー事業を開始し、利用者の利便性を向上させた。	引き続き、搬入ごみの適正化に努める。 ・破碎及び焼却処理施設と連絡を密にして、ごみ運搬を円滑に行う。 ・資源化センターの統合を検討していく。 ・粗大ごみ等の有料化に向け、計量するための搬入路の整備を検討する。
	10603050		13,377,378	1 市民環境部 廃棄物対策課				
			16,316,458	2 加藤 兼三				
	渥美資源化センター運営事業		30,088,498	3 高い				
			13,947,078	4 高い				
			16,141,420	5 普通			改善の効果	普通
28	資源循環の推進	埋立終了後の処分場の維持管理を行うとともに、処分場閉鎖に向けて処分場内の整備や返還用地の整理を行う。	57,852,945	事務事業評価		・平成31年2月に産業廃棄物の埋立が終了し、返還に向けて地元・愛知県と調整している。	・愛知県と調整を行い、令和4年4月に処分場を廃止した。 ・道水路整備工事を実施した。 ・返還に向けて、地元との調整及び換地計画の支援を行った。	土地の返還に向けた工事、測量業務を実施する。 土地を返還する。
	10603060		54,766,747	1 市民環境部 廃棄物対策課				
			3,086,198	2 加藤 兼三				
	片浜埋立処分場運営事業		27,328,278	3 高い				
			23,460,918	4 普通				
			3,867,360	5 普通			改善の効果	普通

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
	事務事業名		R4決算額(円)	事務事業評価									
			内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
29	資源循環の推進	PF事業終了後の包括委託契約により、田原リサイクルセンターの運営及び管理を民間事業者者に委託し、ごみの再資源化を図る。	644,632,210	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から、もやせるごみの炭化処理をPF事業から直営方式に変更した。 ・令和7年度からの豊橋市とのごみ処理広域化までの委託契約としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングにより、運営状況や維持管理状況等を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理広域化までの間、モニタリングを委託事業者と実施し、課題等を共有しながら適切に運営する。 ・炭生館の施設閉鎖に向け、事業者との調整を進める。 		
	10603080		642,487,508	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通				改善の効果	普通
	田原リサイクルセンター運営事業		2,144,702	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通					
			684,751,806	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通					
			683,536,485	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通					
	1,215,321	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通							
30	資源循環の推進	旧リサイクルセンター及び長田最終処分場跡地を適正に管理する。	12,950,536	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・旧リサイクルセンターの水処理施設が経年劣化のため、更新が必要となっている。 ・長田最終処分場跡地については、引き続き、処分場用地を返還していくための調整を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧リサイクルセンターについては、水処理施設設備の修繕を実施し、浸出水の適正管理を行った。 ・両処分場とも除草作業等を実施し、適正管理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧リサイクルセンターについては、老朽化した水処理施設設備の更新をしていき、水処理施設以外は、解体・撤去を進める。 ・長田最終処分場跡地の返還について、地権者の高齢化と後継者不足から返還後の土地の活用方法(農地)が見出せていない。今後、地権者と話し合いを行い、返還するための方策を検討する。 		
	10603090		11,709,063	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通				改善の効果	普通
	最終処分場跡地管理事業		1,241,473	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通					
			15,835,323	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通					
			14,663,219	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通					
	1,172,104	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 普通	5 普通							
31	資源循環の推進	豊橋市とのごみ処理広域化を令和7年度に開始し、共同でごみ焼却処理施設を整備・運営する。	0	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度から豊橋市とごみ処理広域化の実施を予定しており、具体的な内容を両市で協議する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市と、広域処理に関する協議を行った。 ・広域ごみ焼却処理施設の整備事業者を決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、豊橋市と、広域処理に関する協議を行う。 		
	10603100		0	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	豊橋田原ごみ処理広域化事業		0	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い					
			3,649,946	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い					
			1,261,468	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い					
	2,388,478	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い							
32	資源循環の推進	令和7年度からの豊橋市とのごみ処理広域化開始まで、ごみ収集車で収集した廃棄物等を大型車両に積み替えて豊橋市内の施設に運搬するためのごみ中継施設を整備する。	0	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度から豊橋市とごみ処理広域化の実施を予定しており、それまでにごみ中継施設を整備する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ中継施設の整備事業者を決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理広域化に伴い、令和6年度末までにごみ中継施設を整備する。 		
	10603110		0	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	ごみ中継施設整備事業		0	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い					
			24,317,052	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い					
			18,294,610	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い					
	6,022,442	1 市民環境部 廃棄物対策課	2 加藤 兼三	3 高い	4 高い	5 高い							